

## 警 察 署 協 議 会 会 議 録

田川警察署協議会

開催年月日時	令和2年2月13日 午後2時00分 から 令和2年2月13日 午後3時00分 まで	
開催場所	田川警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下7名
	警 察 署	署長、副署長、地域管理官、刑事管理官、 警備管理官、総務課長、留置管理課長、 会計課長、生活安全課長、地域第三課長、 川崎警部交番所長、刑事第一課長、 刑事第二課長、交通課長
議 事 概 要		
<p><b>【会長挨拶（要旨）】</b></p> <p>田川警察署の皆様には平素から治安維持のために御尽力いただき大変感謝している。委員の皆様には、それぞれの視点や立場から忌憚のない意見を申し出ていただき、本協議会が田川警察署の業務運営の一助になればと考えている。</p> <p><b>【署長挨拶（要旨）】</b></p> <p>本年に入ってから、事件や犯罪の発生件数は減少しており、事件検挙についても順調に進んでいる。私は本年3月で退職となるが、署長としてやりがいと責任のある非常に充実した1年間を送ることができた。その間、委員の皆様からは貴重な御意見をいただき大変感謝している。3月3日付けで新署長が赴任するが、これまで同様に御支援のほどよろしく願います。</p> <p><b>【報告事項等】</b></p> <p>1 警察署協議会会長連絡会議の結果について（会長）</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 南警察署協議会の活動報告</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 若松警察署協議会の活動報告</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 嘉麻警察署協議会の活動報告</p> <p>2 田川警察署治安概況（署長）</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 交通事故の発生状況</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 犯罪（刑法犯）の発生状況</p>		

議 事 概 要

(3) 田川警察署の取組

ア 交通事故の防止

「命を守るっ隊」による活動

イ 通学路の安全確保

「レッドブルー作戦」の実施

ウ 少年非行防止

「薬物ZEROプロジェクト田川」の実施

エ 昨年の主な検挙事例

- 保護責任者遺棄致死事件
- 麻薬取締法違反及び覚醒剤取締法違反被疑事件

オ 取組に向けて進行しているもの

- 川崎町と田川警察署との安全・安心なまちづくりに関する協定の締結
- 管内の危険箇所に対する防犯カメラの設置

3 令和2年福岡県警察運営指針（総務課長）

(1) 福岡県警察運営指針

県民の安全・安心の確保

(2) 三大重点目標

- 暴力団の壊滅
- 飲酒運転の撲滅
- 性犯罪の根絶

(3) 重点目標

- ニセ電話詐欺の予防・検挙
- 重要凶悪事件の徹底検挙
- サイバー犯罪等身近な犯罪の予防・検挙
- 子供の安全を守るための対策の強化
- 高齢者等の交通事故の抑止
- テロの未然防止と災害対策の強化
- 厳正な規律の保持と現場執行力の強化

【質疑応答】

- 委員から「通学路の安全対策としてレッドブルー作戦を行ったということだが、どの程度の範囲をパトロールしているのか。」旨の質疑があり、署長から「小学校、中学校、高校全ての通学路を約60台の車両でパトロールしている。作戦開始以後、声かけ事案はほとんどなくなった。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「サイバー補導を行っているという話を聞いたが、田川警察署に専門の部署があるのか。」旨の質疑があり、署長から「サイバー補導は生活安全課少年係が担当している。ネット上でのやりとりのため地域が限定されず、不適切な書き込み等があれば田川警察署管内に限らず県内各地に赴いて補導を行っている。」旨の回答があった。
- 委員から「ネット犯罪から少年を守るために、何かできることはないだろうか。」旨の質疑があり、署長から「ネットの危険性を理解させるための教育をしてもらいたい。ネットの危険性に関する少年向けの講演もあるので、検討していただけたらいいと思う。」旨の回答があった。
- 委員から「最近、事業所等を狙った窃盗事件が頻発しているという話を聞いたが、本当だろうか。」旨の質疑があり、署長から「お尋ねの窃盗事件の被疑者については先日検挙した。現在、詳細について鋭意継続捜査中である。」旨の回答があった。
- 委員から「太州会の幹部がみかじめ料を脅し取ろうとして逮捕されたという記事を見た。暴力団は、みかじめ料はもちろん公共工事に食い込んで資金源にしているという話だが、どうなのだろうか。」旨の質疑があり、署長から「警察ではみかじめ料の対象となりそうな飲食店等を巡回して防犯指導や情報収集のため暴排パトロールを行っている。また、公共工事に関しては、一定額以上の公共工事を入札した会社の情報を警察に提供していただき、そこに警察から防犯指導を行うことで、暴力団を排除するなどの対策を取っている。先ほど説明した川崎町との協定はまさにそのような意図で締結したものである。」旨の回答があった。
- 委員から「ニセ電話詐欺を防いだバスの運転手に感謝状が贈呈されたというニュースを見た。どのような状況だったのだろうか。」旨の質疑があり、生活安全課長から、「コミュニティバスの運転手が顔馴染みの乗客の様子がおかしかったことから声をかけたところ、「30万円の料金未納があるとと言われて銀行に支払いに行く」と言うので、これはおかしいと思い、すぐに駐在所に連れて行き、被害を未然に防止したという話である。今回、良かったのは3点で、異変に気付いたこと、積極的に声かけをしたこと、ニセ電話詐欺についての知識があり即座に騙されていると確信したことである。みなさんも、すぐ身近にこのような話があるということを周りの方に伝えて積極的に広報啓発してもらい、ニセ電話詐欺の被害者を少しでも減らしていただきたい。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「田川警察署管内の特に福智町の空き巣などの窃盗事件の発生状況を知りたい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「昨年1年間の田川警察署管内の窃盗事件の発生件数は400件、前年比-84件で、このうち福智町での発生は53件、前年比-24件である。また、田川警察署管内の空き巣の発生件数については46件、前年比-3件で、そのうち福智町だと16件、前年比+1件であり、いずれも県下の発生件数と同様の傾向で推移している。防犯対策に関しては、ガラス破り、無施錠、ピッキング等の手口による犯行が多い傾向にあるので、可能であればガラス破りやピッキング対策をしていただければ万全であるがお金もかかるので、まずは誰にでもできる無締りを無くすことなど、ちょっとした油断が被害に繋がるということを念頭に防犯対策に取り組んでいただきたい。」旨の回答があった。
- 委員から「運転中に携帯電話を使用する人をよく目にするが、田川警察署ではどれくらいの数を検挙しているのだろうか。」旨の質疑があり、交通課長から「昨年1年間の田川警察署における携帯電話関連違反の検挙数は約800件であり、検挙と併せて指導警告も多数行っている。わずか1～2秒の脇見が数多くの事故を発生させているため、その脇見をさせないような取締りと交通教育を強化している。今後も、死亡事故ゼロを目指し、住民の方々に対し、「走る凶器を運転している」、「道路は一瞬で戦場となる」という意識を啓発する交通教室や取締りを行っていくのでご協力をお願いします。」旨の回答があった。

【閉会】

以上で警察署協議会を閉会する。